

長野県農業士協会理事会における意見交換概要

開催日、場所	参加者の概要、事業PR等	主な意見や質問	対応策等
<p>平成 28 年 9 月 27 日</p> <p>安曇野市穂高 「穂高会館」</p>	<p>長野県農業士協会 会長、理事等 17 名</p> <p>県農政部</p> <p>○意見交換前に「農地中間管理 事業」の概要説明と、事業活 用のPRを行う。</p> <p>・なお、農業士 17 名のうち、 農地中間管理事業について 承知されている会員は7割 (経営品目が、施設菌茸栽培 者や畜産などの会員も少な くないため)</p>	<p>○農地中間管理事業は承知している。 地域内で可能であれば中間事業を活用し て借受けたい農地もあるが、農地所有者は 高齢であっても、なかなか他人に貸そうと しない。 そうこうしているうちに、遊休農地になっ ていくケースが多い。</p> <p>○農機具を新たに導入しようと考えていた。 農地中間管理事業を活用することで経営 体育成事業の採択が優位になるのか？</p> <p>○事業のことは知っていたが、事業背景で国 や県の政策目標として、担い手への農地集 積率がこれほど高いとは思わなかった。 露地野菜をやっているが、一定の面積を超 えると、その先は収益率が伸びない。限界 がある。</p>	<p>□ 農地の掘り起しについては、ラジオCMや新聞 広告などの媒体を活用して事業の仕組みや、市 町村役場に相談、申出していただくようPRし ていますが、更に効果が上がるような取組を進 めていきます。 また、高齢な農地所有者の皆さんの事業理解を 得るには、地域の農業委員さんから話をしてい ただくことが効果的と考えるので、農業委員会 活動との連携を強くしていきます。</p> <p>□ 優先ポイントの加算対象となりますので、事業 計画の相談の際には、市町村や地方事務所に相 談していただくようお願いいたします。</p>